



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社レアジョブ 上場取引所 東
コード番号 6096 URL <https://www.rarejob.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 岳
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO (氏名) 井上 裕二 (TEL) 03-5468-7401
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA ※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,026	73.3	596	193.1	365	707.9	354	290.5	376	504.9
2023年3月期第2四半期	2,900	8.0	203	△18.9	45	△65.6	90	△8.8	62	△29.4

※EBITDA(営業利益+減価償却費+のれん償却額)

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 438百万円(505.3%) 2023年3月期第2四半期 72百万円(29.0%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第2四半期	39	97	39	75
2023年3月期第2四半期	6	69	6	62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第2四半期	7,739	2,521	32.1
2023年3月期	6,835	2,624	35.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 2,484百万円 2023年3月期 2,426百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	10,000	72.8	1,000	82.6	600	162.8	530	89.7	400	106.1	42.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規1社 (社名)株式会社ボーダーリンク
除外2社 (社名)株式会社エンビジョン、株式会社資格スクエア
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	9,823,600株	2023年3月期	9,800,800株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	357,192株	2023年3月期	302,991株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	9,424,669株	2023年3月期2Q	9,315,659株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載致します。また、当社は2023年11月14日(火)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定であり、その内容については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業の主たる領域である英語学習市場においては、新型コロナウイルス感染症の影響による海外渡航・入国制限が解除された現在において、外国人入国者数は新型コロナウイルス感染症流行以前の水準に回復しつつある一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による原材料価格の高騰に伴う物価上昇や、円安の進行等により、日本人出国者数の回復は緩やかであり、依然として英語学習に対する人々の優先順位が上がりづらい状況が続いております。

しかし中長期的には、超少子高齢化による国内市場の縮小や生産人口の減少が予想される日本において、企業による海外市場への進出や、外国人材の登用を積極的に行うことが国内企業にとって不可避となり、結果として、グローバルに活躍できる人材や、外国人材と協働できる人材が多く求められるようになると想定されます。

上述のように、企業が求める人材像が変化していく中で、グローバル言語としての英語の重要性及び学習ニーズは高まると想定されます。

このような状況を踏まえ、中長期的な市場環境変化を見据えた英語学習ニーズに応えるべく取り組みを続けております。

また、子ども・子育て支援事業を展開するK12領域においても、2020年に施行された小学3年生からの英語教育導入や、外国語のコミュニケーション能力を表す指標・国際標準規格のCEFRをもとに検討・策定された、2021年の学習指導要領改訂による英会話力向上に注力するカリキュラム導入など、実際に「英語が話せるようになる」学習が重視されるようになってきております。それに伴い、小・中学校の英語教育における重要な役割を担うALT (Assistant Language Teacher) の当社グループにおける派遣人数も堅調に推移しております。

このような環境の中、当社グループでは、幅広い英語学習者に対して、従来のいつでも、どこでも気軽に英会話学習の場を提供するだけでなく、「英語が話せるようになる」という「成果」を生み出す学習サービスの提供を実現すべく、継続してサービス拡大や品質向上に取り組んでおります。その取り組みとして、日本人講師による学習コンサルティング、CEFRに準拠した英語のスピーキング力を測定するサービス「PROGOS®」や、教材を用いたシャドーイング練習等ができる自主学習用アプリ「ソロトレ」の提供等を活用したラーニングサイクルの構築によって、効果的な学習に繋げる仕組みの整備を行っております。また、より短期で確実に「英語が話せるようになる」という「成果」に繋げることができる英会話コーチングの「スマートメソッド®コース」の提供も行っております。

また、当社グループのフィリピンにおける講師ネットワークを活用したALT供給の安定化を進めることにより、ALT派遣事業拡大の基盤作りに取り組んでおります。

さらに、当社グループでは「世界中の人々が、それぞれの能力を活かし、活躍できる世の中の実現」のため、グローバルリーダー育成研修サービスの展開や海外進出、幅広い学びの領域への拡大を目指し、M&Aなどの取り組みを進めております。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は5,026,350千円と前年同期比2,126,266千円(73.3%)の増収、EBITDAは596,894千円と同393,237千円(193.1%)の増加、営業利益は365,746千円と同320,473千円(707.9%)の増益、経常利益は354,535千円と同263,743千円(290.5%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は376,720千円と同314,440千円(504.9%)の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

リスクリング事業

当第2四半期連結累計期間において、日本人出国者数の回復が遅れが見られるように、依然として個人向けのオンライン英会話サービスの需要が鈍化しており、売上高は2,614,890千円と前年同期比45,070千円(△1.7%)の減収となりました。一方で価格改定による顧客単価の増加に伴う利益率の向上や、広告宣伝費の最適化などの事業運営の効率化の結果、セグメント利益は405,297千円と同157,377千円(63.5%)の増益となっております。

子ども・子育て支援事業

当第2四半期連結累計期間において、当社グループではALT派遣事業を開始したことにより、売上高は2,411,459千円と前年同期比2,171,337千円(904.3%)の増収となりました。その結果、セグメント利益は134,304千円と同176,682千円の増益となっております。

また、当社グループのEBITDAは営業利益+減価償却費+のれん償却額で算出しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末と比べ904,279千円増加し、7,739,381千円となりました。これは主に、前払金が1,165,035千円減少した一方、のれんが936,116千円、顧客関連資産が907,479千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末と比べ1,007,251千円増加し、5,217,925千円となりました。これは主に、短期借入金が400,000千円、未払費用が371,856千円、繰延税金負債が290,761千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ102,972千円減少し、2,521,456千円となりました。これは主に、利益剰余金が262,747千円増加した一方、資本剰余金が190,246千円、非支配株主持分が142,833千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は前連結会計年度末より832,581千円増加し、3,075,933千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、581,745千円(前年同期は283,546千円の収入)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益を356,958千円計上したことや、減価償却費を147,848千円計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により得られた資金は、401,014千円(前年同期は122,554千円の支出)となりました。

これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入144,735千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により支出した資金は、186,166千円(前年同期は219,588千円の支出)となりました。

これは主に、短期借入れによる収入により400,000千円得られたものの、自己株式の取得による支出300,325千円、長期借入金の返済による支出180,684千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想は、2023年5月11日付の2023年3月期決算短信で公表しました通期の連結業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,243,352	3,075,933
売掛金	93,191	616,342
前払費用	102,541	163,533
デリバティブ債権	21,581	82,811
その他	474,160	87,445
流動資産合計	2,934,827	4,026,067
固定資産		
有形固定資産		
建物	101,628	124,523
減価償却累計額	△39,662	△48,713
減損損失累計額	—	△6,031
建物(純額)	61,966	69,778
工具、器具及び備品	177,381	217,101
減価償却累計額	△126,351	△158,603
減損損失累計額	—	△366
工具、器具及び備品(純額)	51,029	58,131
車両運搬具	2,614	23,973
減価償却累計額	△2,614	△18,190
車両運搬具(純額)	0	5,782
使用権資産	85,783	67,823
減価償却累計額	△26,544	△21,934
使用権資産(純額)	59,239	45,888
有形固定資産合計	172,236	179,581
無形固定資産		
商標権	2,971	2,665
ソフトウェア	576,664	530,079
ソフトウェア仮勘定	1,370	16,239
のれん	752,310	1,688,427
コンテンツ資産	58,392	55,023
顧客関連資産	—	907,479
その他	979	974
無形固定資産合計	1,392,689	3,200,889
投資その他の資産		
投資有価証券	989,199	60,779
敷金	104,729	120,085
繰延税金資産	42,687	125,429
前払金	1,165,035	—
その他	33,696	26,549
投資その他の資産合計	2,335,348	332,843
固定資産合計	3,900,274	3,713,314
資産合計	6,835,102	7,739,381

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	400,000
1年内返済予定の長期借入金	361,368	346,368
リース債務	9,912	9,772
未払金	195,739	186,252
未払費用	242,004	613,861
未払法人税等	84,615	68,131
未払消費税等	73,833	152,800
前受金	598,452	618,655
預り金	21,671	86,075
返金負債	5,552	1,043
賞与引当金	60,864	68,678
デリバティブ債務	3,512	—
その他	31,379	29,098
流動負債合計	1,688,908	2,580,737
固定負債		
長期借入金	2,419,864	2,254,180
退職給付に係る負債	21,832	27,194
リース債務	56,006	41,145
資産除去債務	3,291	3,069
繰延税金負債	20,203	310,965
その他	567	633
固定負債合計	2,521,765	2,637,187
負債合計	4,210,673	5,217,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	644,725	654,182
資本剰余金	828,336	638,089
利益剰余金	1,102,136	1,364,883
自己株式	△187,186	△278,626
株主資本合計	2,388,012	2,378,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,586	7,399
繰延ヘッジ損益	12,491	57,443
為替換算調整勘定	14,942	32,454
退職給付に係る調整累計額	7,081	8,215
その他の包括利益累計額合計	38,102	105,512
新株予約権	55,475	37,409
非支配株主持分	142,837	4
純資産合計	2,624,428	2,521,456
負債純資産合計	6,835,102	7,739,381

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,900,083	5,026,350
売上原価	1,192,403	2,782,831
売上総利益	1,707,679	2,243,518
販売費及び一般管理費	1,662,406	1,877,771
営業利益	45,273	365,746
営業外収益		
受取利息	78	117
為替差益	402	—
持分法による投資利益	51,112	—
受取手数料	—	6,172
その他	3,396	2,269
営業外収益合計	54,990	8,559
営業外費用		
支払利息	7,237	8,053
為替差損	—	8,780
持分法による投資損失	—	2,274
その他	2,234	663
営業外費用合計	9,472	19,771
経常利益	90,791	354,535
特別利益		
固定資産売却益	—	1,173
新株予約権戻入益	1,748	13,386
段階取得に係る差益	—	11,748
事業整理益	4,839	—
その他	—	3,577
特別利益合計	6,587	29,885
特別損失		
固定資産売却損	1,467	—
固定資産除却損	—	2,741
保険解約損	—	5,331
事業撤退損	—	7,000
投資有価証券評価損	—	12,388
特別損失合計	1,467	27,461
税金等調整前四半期純利益	95,911	356,958
法人税、住民税及び事業税	31,551	80,758
法人税等調整額	16,992	△100,520
法人税等合計	48,544	△19,762
四半期純利益	47,366	376,721
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14,913	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	62,280	376,720

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	47,366	376,721
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,121	3,812
繰延ヘッジ損益	6,357	44,951
為替換算調整勘定	16,743	11,414
退職給付に係る調整額	△3,222	1,133
その他の包括利益合計	25,000	61,312
四半期包括利益	72,367	438,033
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	86,652	438,032
非支配株主に係る四半期包括利益	△14,285	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	95,911	356,958
減価償却費	111,491	147,848
株式報酬費用	18,661	22,270
のれん償却額	46,890	83,298
持分法による投資損益(△は益)	△51,112	2,274
受取利息	△78	△117
支払利息	7,237	8,053
固定資産売却損益(△は益)	1,467	△1,173
新株予約権戻入益	△1,748	△13,386
事業整理益	△4,839	—
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△11,748
保険解約損益(△は益)	—	5,331
固定資産除却損	—	2,741
投資有価証券評価損益(△は益)	—	12,388
売上債権の増減額(△は増加)	27,444	1,035
前払費用の増減額(△は増加)	△12,941	△18,678
未払金の増減額(△は減少)	△28,097	△173,767
未払費用の増減額(△は減少)	22,553	347,236
未払消費税等の増減額(△は減少)	17,597	△21,979
前受金の増減額(△は減少)	15,130	17,236
賞与引当金の増減額(△は減少)	△27,037	△30,294
その他の資産の増減額(△は増加)	14,947	26,176
その他の負債の増減額(△は減少)	△15,895	51,996
その他	△3,596	△13,432
小計	233,985	800,271
利息及び配当金の受取額	46,642	116
利息の支払額	△7,304	△7,880
補助金の受取額	—	367
法人税等の支払額	△21,071	△249,004
法人税等の還付額	31,294	37,876
営業活動によるキャッシュ・フロー	283,546	581,745
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,623	△22,828
有形固定資産の売却による収入	2,944	1,214
無形固定資産の取得による支出	△134,919	△62,717
敷金及び保証金の回収による収入	23,845	1,029
敷金及び保証金の差入による支出	△37	△2,950
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	144,735
その他	△5,763	342,531
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122,554	401,014

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	400,000
長期借入金の返済による支出	△121,484	△180,684
自己株式の取得による支出	—	△300,325
リース債務の返済による支出	△6,012	△5,829
ストックオプションの行使による収入	9,940	14,233
配当金の支払額	△102,031	△113,560
財務活動によるキャッシュ・フロー	△219,588	△186,166
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,698	35,988
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△35,896	832,581
現金及び現金同等物の期首残高	3,121,435	2,243,352
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,085,538	3,075,933

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	リスキリング 事業	子ども・子育て 支援事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	2,659,960	240,122	2,900,083	—	2,900,083
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,020	13,413	19,433	△19,433	—
計	2,665,981	253,536	2,919,517	△19,433	2,900,083
セグメント利益 又は損失(△)	247,920	△42,378	205,542	△160,268	45,273

(注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

また、セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	リスキリング 事業	子ども・子育て 支援事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	2,614,890	2,411,459	5,026,350	—	5,026,350
セグメント間の内部 売上高又は振替高	827	15,810	16,637	△16,637	—
計	2,615,717	2,427,270	5,042,988	△16,637	5,026,350
セグメント利益	405,297	134,304	539,601	△173,854	365,746

(注) 1. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

また、セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来「英語関連事業」のみの単一セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より業務管理区分の見直しに伴い、単一セグメントから、「リスキリング事業」「子ども・子育て支援事業」の2区分に変更しました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。